

適切な介護記録表現とリスクマネジメント対策を身につけよう～実地指導対策と身を守る術の対策と傾向～

今年度、介護保険が改正になりました。その内容は今まで以上に市区町村の権限を強化すること、外部へ情報公開によりサービス全体が外部からのチェックがなされることです。改正の傾向から介護事業所の閉鎖性をなくし、地域に根付いた施設にしていこうという厚労省のねらいが見えてきます。またそれに伴い実地指導も厳しくなったという声が多数聞かれます。

このセミナーでは習得目標として介護記録が適切に表現できるようにしてきます。介護記録対策として適切な表現方法（特に認知症 BPSD）を通じ、昨今多くなってきた訴訟対策として自身の身を守る術を解説してきます。また年々厳しくなってくる実地指導対策についても大まかな流れと具体的に指導事例を見ていき、来る指導対策、訴訟対策に備えます。これを機に今迄の記載方法を見直してみませんか。

開講日時	【福岡】（第1回目）平成30年7月13日（第2回目）7月19日		
	【長崎】（第1回目）平成30年7月17日（第2回目）7月26日		
	【北九州】（第1回目）平成30年7月24日（第2回目）7月31日		
講師	白石 均 【福岡シティ福祉サービス代表】		
会場	【福岡】クローバープラザ【春日市原町3丁目1-7】		
	【長崎】長崎県総合福祉センター【長崎市茂里町3-24】		
	【北九州】レインボープラザ【北九州市八幡東区中央2-1-1】		
定員	各回とも15名	時間	10:30～16:00
受講料	1回につき5,000円		長崎のみ11:00～16:30



講師略歴

社会福祉士
福岡シティ福祉サービス代表
社団法人・日本社会福祉士会会員
福岡市介護認定審査会委員

1968年6月20日 岡山県生まれ
近畿大学大学院・産業技術研究科
修了後、大手学習塾にて講師・教務に携わる。

1998年以降13年間、ケアプランセンターにて給付管理業務、有料老人ホーム・通所介護事業所にて生活相談業務、介護保険請求業務に携わる。

2012年5月 福岡シティ福祉サービス設立。介護請求代行・職員研修を主な業務としている。

業務経験談を交えた講義はレジュメとともに分かりやすいと定評がある。

【主な実績】

- ・通所介護&リハ（日総研）執筆
- ・真・介護キャリア（日総研）執筆
- ・出張セミナー（長崎）
- ・事業所内研修（社協）
- ・Webセミナー収録 など

第1回【介護記録編】

介護記録の書き方の基本と見方について学びます。初級者向きです

- ・介護記録の意義・目的
- ・介護記録の目的
- ・介護記録の落とし穴
- ・記録を書くときの10の心得
- ・生活場面別における介護記録事例検討【入浴・レクリエーション・食事・夜勤など】
- ・介護記録の読み方と活かし方、

第2回【リスクマネジメント編】

介護記録がリスクマネジメントの上でどのように生かされるかを学びます。管理者向けです。

- ・個人情報の保護とコンプライアンスについて
- ・記録の開示について（説明責任）
- ・記録とリスクマネジメント
- ・介護職における医行為について
- ・介護保険事業における“コンプライアンス [法令順守] とは
- ・危機予知訓練（KTY）
- ・指導・監査について

●お申込み・お問合せ●

申込フォーム、E-Mail、お電話などでお申し込みください。

ご不明な点がありましたらお気軽にお問い合わせください。



FUKUOKA CITY
WELFARE SERVICE

福岡シティ福祉サービス

～(株)東京シティ福祉サービスフランチャイズ加盟店～

〒819-0005 福岡市西区内浜 1-14-13 カイザー姪浜 201

Tel 092-883-9144 Fax 092-883-1142

E-mail fukuoka-fukushi@pro.odn.ne.jp